

公益財団法人 実務技能検定協会 平成30年度事業計画書

I 全般

1 目的及び事業

本協会は、ビジネス実務に関する資質、知識、技能などの能力について審査を行い、等級を評価することにより、ビジネス実務に対する学習意欲の喚起、職業教育の充実、及び職業人の職業技能の向上に寄与することを目的として、以下の事業を行う。

・公益目的事業（公1）

- （1）秘書技能、ビジネス文書技能、ビジネス実務マナー技能、サービス接客実務、及びビジネス電話実務並びにその他ビジネス実務に関する技能検定の実施
- （2）合格者の登録並びに合格証及び合格証明書の発行
- （3）実務技能審査事業の普及、啓発

・収益事業（収1）

出版物（ビジネス系検定受験参考書）の監修及び著作権の提供

2 成績優秀合格者・優秀団体の表彰（文部科学大臣賞、実務技能検定協会優秀賞等）

平成30年度表彰式実施予定日 平成31年3月1日（金）
（会場 アルカディア市ヶ谷）

3 受験料の改定

財政基盤の安定化及び検定事業の質の保持のために、ビジネス系検定の受験料を改定する。
（平成29年11月30日開催の臨時理事会で承認）

II 公益目的事業（公1）事業計画

1 平成30年度 秘書技能検定事業計画

（1）試験の級位及び新受験料（消費税込み）

1級 6,500円 準1級 5,300円 2級 4,100円
3級 2,800円

（2）筆記試験実施日（予定）・願書受付期間（予定）

第1回 平成30年6月16日（土）または17日（日） 1～3級実施
（願書受付 4月5日（木）～5月16日（水））

第2回 平成30年11月10日（土）または11日（日） 1～3級実施
（願書受付 9月3日（月）～10月10日（水））

第3回 平成31年2月9日(土)または10日(日) 2・3級のみ実施
(願書受付 12月10日(月)～1月15日(火))

(3) 面接試験(1級・準1級の二次試験)

- 1 級 ① 第1回 全国延べ14カ所で実施予定
② 第2回 全国延べ15カ所で実施予定
準1級 ① 第1回 全国延べ22カ所で実施予定
② 第2回 全国延べ21カ所で実施予定

筆記試験免除 1級・準1級とも、初回の面接試験に不合格の場合、次回・次々回の筆記試験が免除される。

(4) 試験の範囲と程度 「秘書技能審査基準」による。

(5) 試験実施会場

本会場(個人受験者・団体受験者向け会場) 各回150会場を予定
準会場(団体受験者のみの会場) 各回850会場を予定

(6) 受験手続

団体受験 学校・企業等の担当者を通じて申し込む。

個人受験 インターネット、書店、郵送(現金書留)のいずれかにより申し込む。

(7) 平成30年度志願者数見積

級 位	平成30年度計画数
1 級	2,500名
準1級	12,000名
2 級	88,000名
3 級	44,800名
合 計	147,300名

(8) その他

- ① 合格者の登録及び合格証明書の発行を行う。
- ② 成績優秀者及び成績優秀団体の表彰を行う。
- ③ 地方研究会(ビジネス実務教育担当者向け)を9地区(札幌・仙台・東京・新潟・名古屋・大阪・広島・福岡・那覇)で開催する。
- ④ 準1級の面接試験担当者(審査員・係員)の研修を行う。
- ⑤ 教育担当者を対象にしたビジネス実務教育情報紙を年3回発行する。

2 平成30年度 ビジネス文書技能検定事業計画

(1) 試験の級位及び新受験料（消費税込み）

1級 5,800円 2級 4,100円 3級 2,800円

(2) 筆記試験実施日（予定）・願書受付期間（予定）

第1回 平成30年7月1日(日) 1～3級実施

(願書受付 4月5日(木)～5月28日(月))

第2回 平成30年12月2日(日) 1～3級実施

(願書受付 9月3日(月)～10月29日(月))

(3) 試験の範囲と程度 「ビジネス文書技能審査基準」による。

(4) 試験実施会場

本会場（個人受験者・団体受験者向け会場） 各回20会場を予定

準会場（団体受験者のみの会場） 各回150会場を予定

(5) 受験手続

団体受験 学校・企業等の担当者を通じて申し込む。

個人受験 インターネット、書店、郵送（現金書留）のいずれかにより申し込む。

(6) 平成30年度志願者数見積

級 位	平成30年度計画数
1 級	800名
2 級	3,500名
3 級	6,500名
合 計	10,800名

(7) その他

- ① 合格者の登録及び合格証明書の発行を行う。
- ② 成績優秀者及び成績優秀団体の表彰を行う。
- ③ 地方研究会（ビジネス実務教育担当者向け）を9地区（札幌・仙台・東京・新潟・名古屋・大阪・広島・福岡・那覇）で開催する。
- ④ 教育担当者を対象にしたビジネス実務教育情報紙を年3回発行する。

3 平成30年度 ビジネス実務マナー技能検定事業計画

(1) 試験の級位及び新受験料（消費税込み）

1級 6,500円 2級 4,100円 3級 2,800円

(2) 筆記試験実施日（予定）・願書受付期間（予定）

第1回 平成30年6月24日(日) 1～3級実施
(願書受付 4月5日(木)～5月21日(月))

第2回 平成30年11月18日(日) 1～3級実施
(願書受付 9月3日(月)～10月15日(月))

(3) 1級面接試験（二次試験）

第1回 全国8カ所で実施予定

第2回 全国7カ所で実施予定

筆記試験免除 初回の面接試験に不合格の場合、次回・次々回の筆記試験が免除される。

(4) 試験の範囲と程度 「ビジネス実務マナー技能審査基準」による。

(5) 試験実施会場

本会場（個人受験者・団体受験者向け会場） 各回15会場を予定

準会場（団体受験者のみの会場） 各回140会場を予定

(6) 受験手続

団体受験 学校・企業等の担当者を通じて申し込む。

個人受験 インターネット、書店、郵送（現金書留）のいずれかにより申し込む。

(7) 平成30年度志願者数見積

級位	平成30年度計画数
1級	200名
2級	3,200名
3級	6,100名
合計	9,500名

(8) その他

① 合格者の登録及び合格証明書の発行を行う。

② 成績優秀者及び成績優秀団体の表彰を行う。

③ 地方研究会（ビジネス実務教育担当者向け）を9地区（札幌・仙台・東京・新潟・名古屋・大阪・広島・福岡・那覇）で開催する。

④ 教育担当者を対象にしたビジネス実務教育情報紙を年3回発行する。

4 平成30年度 サービス接客実務検定事業計画

(1) 試験の級位および新受験料（消費税込み）

1級 6,500円 準1級 4,700円 2級 3,900円
3級 2,700円

(2) 筆記試験実施日（予定）・願書受付期間（予定）

第1回 平成30年6月10日(日)1・2・3級実施（準1級は面接試験のみ実施）
（願書受付 4月5日(木)～5月7日(月)）

第2回 平成30年11月4日(日)1・2・3級実施（準1級は面接試験のみ実施）
（願書受付 9月3日(月)～10月1日(月)）

(3) 面接試験（1級は二次試験として実施）

1級 ① 第1回 全国延べ10カ所で実施予定

② 第2回 全国延べ10カ所で実施予定

準1級 ① 第1回 全国延べ14カ所で実施予定

② 第2回 全国延べ16カ所で実施予定

筆記試験免除 初回試験に不合格の場合、次回・次々回の筆記試験が免除される
（1級のみ）。

(4) 試験の範囲と程度 「サービス接客実務審査基準」による。

(5) 試験実施会場

本会場（個人受験者・団体受験者向け会場） 各回35会場を予定

準会場（団体受験者のみの会場） 各回500会場を予定

(6) 受験手続

団体受験 学校・企業等の担当者を通じて申し込む。

個人受験 インターネット、書店、郵送（現金書留）のいずれかにより申し込む。

(7) 平成30年度志願者数見積

級位	平成30年度計画数
1級	1,350名
準1級	6,400名
2級	21,000名
3級	24,000名
合計	52,750名

(8) その他

- ① 合格者の登録及び合格証明書の発行を行う。
- ② 成績優秀者及び成績優秀団体の表彰を行う。
- ③ 地方研究会（ビジネス実務教育担当者向け）を9地区(札幌・仙台・東京・新潟・名古屋・大阪・広島・福岡・那覇)で開催する。
- ④ 準1級の面接試験担当者（審査員・係員）の研修を行う。
- ⑤ 教育担当者を対象にしたビジネス実務教育情報紙を年3回発行する。

5 平成30年度 ビジネス電話実務検定事業計画

(1) 試験の級位及び新受験料（消費税込み）

実践級 4,700円 知識A級 3,500円 知識B級 2,700円

(2) 筆記試験実施日（予定）・願書受付期間（予定）

第1回 平成30年6月3日(日) 知識A・知識B級実施(実践級は実技試験のみ)
(願書受付 4月5日(木)～5月7日(月))

第2回 平成30年11月25日(日) 知識A・知識B級実施(実践級は実技試験のみ)
(願書受付 9月3日(月)～10月22日(月))

(3) 実践級試験（知識A級の合格者のみ受験可）

- 第1回 全国5カ所で実施予定
第2回 全国6カ所で実施予定

(4) 試験の範囲と程度 「ビジネス電話実務審査基準」による。

(5) 試験実施会場

本会場（個人受験者・団体受験者向け会場） 各回15会場を予定
準会場（団体受験者のみの会場） 各回80会場を予定

(6) 受験手続

団体受験 学校・企業等の担当者を通じて申し込む。
個人受験 インターネット、書店、郵送（現金書留）のいずれかにより申し込む。

(7) 平成30年度志願者数見積

級位	平成30年度計画数
実践級	400名
知識A級	2,300名
知識B級	2,050名
合計	4,750名

(8) その他

- ① 合格者の登録及び合格証明書の発行を行う。
- ② 成績優秀者及び成績優秀団体の表彰を行う。
- ③ 地方研究会（ビジネス実務教育担当者向け）を9地区(札幌・仙台・東京・新潟・名古屋・大阪・広島・福岡・那覇)で開催する。
- ④ 実践級の試験担当者（係員）の研修を行う。
- ⑤ 教育担当者を対象にしたビジネス実務教育情報紙を年3回発行する。

Ⅲ 収益事業（収1）事業計画

1 実務技能検定に関する問題著作権の提供等

趣旨・事業の内容

ビジネス実務に関する知識・技能は、学校教育では身に付ける機会が少なく、学習者にとっては学習の手段が不可欠である。学習者が効率的に知識や技能を習得するためには、一定の基準（各検定の「審査基準」）に基づいて解説された学習参考書での学習と、その習熟度を測るために各検定の「審査基準」に基づいて出題された過去の問題（実問題）への取り組みなどが適当な学習方法となる。

出版事業を行っていない当法人としては、学習者のニーズに応え学習の支援を行うために、出版社等に実問題の著作権を有償で広く提供するとともに、要請があれば各検定試験に関する学習参考書等の監修業務を受託する。

以上